



平成 30 年 5 月 8 日

各 位

会社名 株式会社 エスエルディー
 代表者名 代表取締役社長 CEO 伴 直 樹
 (コード：3223 東証 JASDAQ スタンダード)
 問合せ先 経営管理本部本部長 CFO 鯛 剛 和
 (TEL. 03-6277-5031)

特別損失の計上、業績予想及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 5 月 8 日開催の取締役会において、以下のとおり、特別損失を計上すること、平成 29 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期の 1 株当たり配当予想、及び平成 29 年 11 月 14 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期の業績予想について修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

①店舗閉鎖に伴う損失 29 百万円

下半期からの新組織体制及び事業運営方針の下、経営リソースの選択と集中を目的とし、店舗に対する人材配置の抜本的な見直しを行いました。この結果、戦略的に新たに退店することを決定した店舗（以下、「戦略的退店店舗」といいます。）につきまして、当該店舗の閉鎖に伴って見込まれる損失 29 百万円を店舗閉鎖損失引当金繰入額として特別損失に計上いたします。

②減損損失 80 百万円

一部の収益性が低下した店舗につきまして、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき固定資産の回収可能性を検討した結果、当該固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額した当該減少額 80 百万円を減損損失として計上いたします。

2. 平成 30 年 3 月期業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,169	百万円 △ 6	百万円 △ 6	百万円 △281	円 銭 △214.96
今回修正予想 (B)	5,076	△114	△118	△531	△406.17
増 減 額 (B - A)	△93	△108	△112	△250	
増 減 率 (%)	△1.8	—	—	—	
(参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	5,505	△58	△41	△171	△131.05

(修正の理由)

飲食サービスにおいて、戦略的退店店舗における一時的な営業制限等を行ったことにより、前回予想の売上高を下回る見通しとなりました。一方で、コンテンツ企画サービスは、株式会社ポケモンからの店舗運営業務受託や、横浜赤レンガ倉庫で開催された冬のイベントへの出店等新たな案件の獲得により堅調に推移いたしました。

営業利益及び経常利益につきましては、下半期からの新組織体制及び事業運営方針の下、本社機能及び営業管理機能の業務改善（BPR）を進めることにより販売費及び一般管理費の削減に奏功しているものの、上記飲食サービスが減収するなか、固定費負担が重く、前回予想を下回る見通しとなりました。

当期純利益につきましては、上記に加えて、戦略的退店店舗の閉鎖に伴う損失、及び一部の収益性が低下した店舗に対する減損損失を特別損失に計上することとなったことにより、前回予想を下回る見通しとなりました。

3. 配当予想の修正（無配）について

	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成29年5月15日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 20.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
(参考) 前期実績 (平成29年3月期)	—	0.00	—	20.00	20.00

(修正の理由)

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、事業の成長、資本効率の改善等による中長期的な株式価値の向上と、経営体質強化のために必要な内部留保の確保を総合的に勘案した上で、株主の皆様に適正な利益配分を行うことを基本方針としております。しかしながら、先に述べた当期の業績予想のとおり、大幅な赤字決算が見込まれることから、誠に遺憾ではございますが、平成30年3月期の期末配当を無配に修正させていただきます。

(注) 本資料に記載されている業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上